

コード	204010110
記入日	H26.6.3

課コード	114
課名	水道課
課長名	築地 政次
担当者	中野 健司

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	簡易水道事業資産評価業務委託事業
----------	------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 28 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	1
施策コード	204	施策名称	暮らしを支える水道の整備	項コード	3
基本事業コード	20401	基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進	目コード	1
事務事業コード	2040101	事務事業名称	簡易水道特別会計事業費	細目コード	特別会計
関連計画	新上五島町簡易水道統合計画		法令・条例規則等		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 水道事業資産	(対象2)	(対象指標1)	15施設 (14簡易水道及び1飲料水供給施設)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体) ・平成21年度 簡易水道公営企業法適用基本計画策定 ・平成23年度～平成27年度 資産調査・整理業務委託 →H23：若松地区(2)、H24：有川地区(6)、H25：新魚目地区(2)、H26：上五島地区(4)、奈良尾地区(1) →平成27年度 資産再評価、会計システム導入、条例規則整備及び事務支援業務委託予定 →平成28年度 認可設計費等業務委託予定	(平成25年度) ・簡易水道事業資産整理業務委託(新魚目地区)を実施した。	基本計画策定 *****	1.0式 *****	100.0% *****	計画策定(実績)÷ 計画策定(計画)	平成21年度 *****
		① (達成率分析)	平成21年度に公営企業法適用基本計画策定が完了した。			
		② (達成率分析)	資産評価業務委託 2施設	66.7%	資産評価終了施設÷ 資産評価計画施設	平成27年度 平成25年度
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		法適用企業会計への移行	-	-	-	平成28年度
		① (達成率分析)	新上五島町簡易水道統合計画に基づき、平成28年度から法適用企業会計への移行を図る。			
		② (達成率分析)				
・平成19年11月6日提出の「新上五島町簡易水道統合計画」に基づく法適用企業会計への移行準備のため、水道事業資産の調査・整理及び評価を行う。						

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 式	1.0	1.0	1.0						
	② 施設	15	10	8	2	2	5			
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	92,135	25,109	16,800	6,867	8,309	20,668	19,800	28,000	
直接事業費 A	千円	92,135	25,109	16,800	6,867	8,309	20,668	19,800	28,000	
人件費 B	千円									
内訳	従事職員数	人								
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	92,135	25,109	16,800	6,867	8,309	20,668	19,800	28,000	

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	水道水の安定供給は不変的なものであり、当然行うべきものである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	水道事業の資産状況が明確にできることとなり、経営状況を明確に把握できることとなる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	随時、計画の見直しを行い実施しているため、向上させる余地はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	単一事業であり、事業を推進する上で適切である。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	最小の経費で最大の効果を得る設計となっているため、代えられない。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	現在のところ、計画を大幅に見直す必要はない。
	今後、課題に向けた改善策	最小の経費で最大の効果が得られるよう、随時計画実施の効果を検証し、翌年度以降の計画に反映させる。

2次評価	簡易水道統合計画に基づく簡易水道事業から上水道事業への移行にあたり、公営企業会計方式への移行準備として資産評価を実施するものである。資産評価にあたっては遺漏のないよう対処し、適正に企業会計へ移行ができるよう、財政課とも協議し経営状況等も踏まえながら準備していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。